

ムーンバット株式会社

MOONBAT REPORT

第 81 期
期 末

2021. 4. 1-2022. 3. 31

証券コード：8115



株主の皆様へ



代表取締役
会長兼社長執行役員

中 村 卓 司

平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第81期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出・延長、まん延防止等重点措置の適用が各自自治体において断続的に行われ、全国的に経済活動の停滞、個人消費の低迷が続きました。昨年9月末以降は、ワクチン接種の進行もあり、感染者数の減少から、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されたことで消費環境が回復基調に転じつつありましたが、本年1月以降のオミクロン株の感染急拡大を受け、多くの都道府県にまん延防止等重点措置が適用されたことで、再び急速に悪化いたしました。

服飾雑貨業界におきましても、昨年4月以降の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の実施を受けた外出自粛、商業施設の時短要請等の影響は大きく、同9月末に緊急事態宣言が解除された後も感染再拡大の懸念等から個人消費の戻りが鈍い状態が続き、本年1月以降、オミクロン株の感染急拡大を受けて再び悪化に転じました。また、このような影響の下、リモートワークの導入拡大等を受けたライフスタイル、購買志向の変化などから、経営環境は、不確実性を高めております。

このような状況の下、当連結会計年度を初年度とする第1次中期経営計画に基づく経営方針より、成長領域である専門店・量販店の販路拡大、Eコマース事業及び直営店事業の強化による売上高の回復に注力しましたが、主力販路である百貨店部門の回復が想定よりも悪く計画を大幅に下回りました。

前連結会計年度より推進中の構造改革による販売費及び一般管理費等の抜本的見直しによる削減が想定以上に進捗しているものの、製品生産国の原材料・人件費の上昇、海上運賃の高騰、為替相場の円安等による仕入コストの上昇に加え、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のライセンス商品を損失計上した影響もあり、損益面も大幅に計画を下回る結果となりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は74億55百万円（前年同期比4.0%増）、営業損失は5億56百万円（前年同期は7億17百万円の営業損失）、経常損失は4億49百万円（前年同期は6億7百万円の経常損失）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益を1億2百万円計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純損失は3億79百万円（前年同期は18億58百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

新型コロナウイルス感染症は本年度以降全世界的に徐々に収束に向かい、その影響が段階的に緩和されるものと予想しておりますが、ウクライナ情勢の推移、資源価格の上昇、インフレ懸念及び為替相場の円安の進行等様々な要因により景気の先行きの不透明感は続くものと推測しております。

このような情勢の中、当社グループは2021年5月策定の「第1次中期経営計画」の経営方針に則り、急速に進むリモートワークの拡大等による消費者のライフスタイルの変化、購買志向の変化等に対応した商品開発、販路開拓、効率的な仕入を追求した在庫の継続的な削減、経営資源の最適分配を目指した販売管理費のコントロール等により、新型コロナウイルス感染症拡大に深刻な影響を受けた事業の再構築、構造改革に引き続き取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

<部門別業績>

(洋傘部門)

当連結会計年度の売上高は、38億円、前年同期比6.2%減収となりました。

洋傘部門につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は依然大きく、7月から8月にかけての集中豪雨等による天候不順もあり、Eコマース及び前期に開店した小売店舗の売上貢献はあったものの、主販路である百貨店マーケットの低迷により売上高は前年同期を下回りました。

(洋品部門)

当連結会計年度の売上高は、16億72百万円、前年同期比9.6%増収となりました。

洋品部門につきましては、数年ぶりの寒い冬となったことや昨年9月末の緊急事態宣言の解除が秋冬物販売の最盛期と重なったことから、売上高は前年同期を上回りましたが、本格回復には、至っておりません。

(帽子部門)

当連結会計年度の売上高は、13億34百万円、前年同期比36.0%増収となりました。

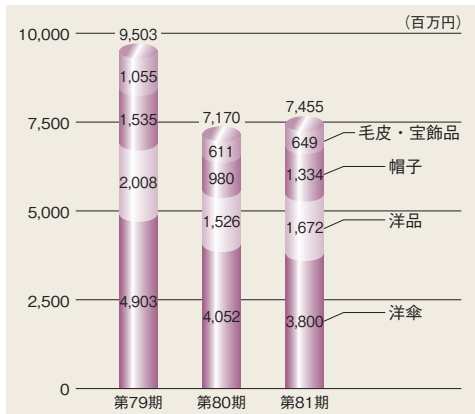
帽子部門につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を完全には払拭できてはいないものの、昨年9月末の緊急事態宣言の解除以降、秋冬物の販売は個人消費の戻りを取り込み、一部ブランド品の人気の高まりもあり、売上高も前年同期を大きく上回りました。

(毛皮・宝飾品部門)

当連結会計年度の売上高は、6億49百万円、前年同期比6.1%増収となりました。

毛皮・宝飾品部門につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、営業活動の回復は限定的となりましたが、商品の希少性から高額商品を中心に富裕層宛の販売が比較的好調となり、加えて、前期からの毛皮リフォーム・リメイク等のサステナブルな提案により売上高は前年同期を上回りました。

事業区分別売上高の推移



当社グループの財産及び損益の状況の推移

区 分	第78期 (2019年3月期)	第79期 (2020年3月期)	第80期 (2021年3月期)	第81期 (当連結会計年度) (2022年3月期)
売上高(百万円)	11,624	9,503	7,170	7,455
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	249	△1,319	△607	△449
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	132	△1,425	△1,858	△379
純資産(百万円)	8,712	7,023	5,066	4,503
総資産(百万円)	12,955	11,642	11,266	11,063
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	27.11	△294.94	△389.09	△79.52
1株当たり純資産額(円)	1,789.48	1,469.41	1,061.14	944.77

財務諸表の概要 (連結)

●連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 (2022年3月31日現在)	前期 (2021年3月31日現在)	科目	当期 (2022年3月31日現在)	前期 (2021年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,219	7,270	流動負債	5,784	5,389
現金及び預金	657	1,254	支払手形及び買掛金	577	487
受取手形及び売掛金	2,200	2,231	電子記録債務	157	202
棚卸資産	3,412	3,624	短期借入金	3,439	4,027
返品資産	770	—	未払法人税等	41	22
その他	193	185	賞与引当金	24	24
貸倒引当金	△ 14	△ 25	返品調整引当金	—	176
固定資産	3,843	3,995	返金負債	1,132	—
有形固定資産	2,726	2,796	その他	410	447
土地	1,677	1,677	固定負債	774	810
その他	1,048	1,118	長期借入金	247	226
無形固定資産	293	293	退職給付に係る負債	307	307
投資その他の資産	822	906	その他	219	274
投資不動産	403	415	負債合計	6,559	6,199
その他	447	519	純資産の部		
貸倒引当金	△ 28	△ 28	株主資本	4,391	4,972
資産合計	11,063	11,266	資本金	1,000	1,000
			資本剰余金	2,856	3,381
			利益剰余金	539	1,116
			自己株式	△ 3	△ 524
			その他の包括利益累計額	111	94
			その他有価証券評価差額金	49	69
			繰延ヘッジ損益	23	—
			為替換算調整勘定	28	15
			退職給付に係る調整累計額	9	9
			純資産合計	4,503	5,066
			負債及び純資産合計	11,063	11,266

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益及び包括利益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期		前期	
	(2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	7,455	7,170		
売上原価	4,681	4,246		
売上総利益	2,773	2,924		
販売費及び一般管理費	3,329	3,641		
営業損失	△ 556	△ 717		
営業外収益	152	164		
営業外費用	45	54		
経常損失	△ 449	△ 607		
税金等調整前当期純損失	△ 357	△ 1,747		
法人税、住民税及び事業税	32	19		
法人税等調整額	△ 10	90		
親会社株主に帰属する当期純損失	△ 379	△ 1,858		
包括損失	△ 362	△ 1,810		

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期		前期	
	(2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	(2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 101	△ 1,705		
投資活動によるキャッシュ・フロー	152	△ 20		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 661	1,894		
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	3		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 596	172		
現金及び現金同等物の期首残高	1,254	1,082		
現金及び現金同等物の期末残高	657	1,254		

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,000	3,381	1,116	△ 524	4,972	69	—	15	9	94	5,066
会計方針の変更による累積的影響額			△ 197		△ 197						△ 197
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,000	3,381	918	△ 524	4,775	69	—	15	9	94	4,869
連結会計年度中の変動額											
親会社株主に帰属する当期純損失			△ 379		△ 379						△ 379
自己株式の取得				△ 3	△ 3						△ 3
自己株式の消却		△ 524		524	—						—
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 20	23	12	0	17	17
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 524	△ 379	521	△ 383	△ 20	23	12	0	17	△ 366
当期末残高	1,000	2,856	539	△ 3	4,391	49	23	28	9	111	4,503

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表の概要（単体）

●貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 (2022年3月31日現在)	前期 (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,891	6,921
固定資産	4,259	4,445
資産合計	11,150	11,366
負債の部		
流動負債	6,066	5,634
固定負債	733	772
負債合計	6,800	6,406
純資産の部		
株主資本	4,277	4,891
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,854	3,379
利益剰余金	426	1,036
自己株式	△ 3	△ 524
評価・換算差額等	73	69
その他有価証券評価差額金	49	69
繰延ヘッジ損益	23	—
純資産合計	4,350	4,960
負債及び純資産合計	11,150	11,366

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	前期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	7,095	6,825
売上原価	4,636	4,212
売上総利益	2,459	2,612
販売費及び一般管理費	3,103	3,305
営業損失	△ 643	△ 692
営業外収益	199	248
営業外費用	49	55
経常損失	△ 493	△ 499
特別利益	102	70
特別損失	10	1,124
税引前当期純損失	△ 401	△ 1,552
法人税、住民税及び事業税	11	12
法人税等調整額	0	69
当期純損失	△ 413	△ 1,634

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

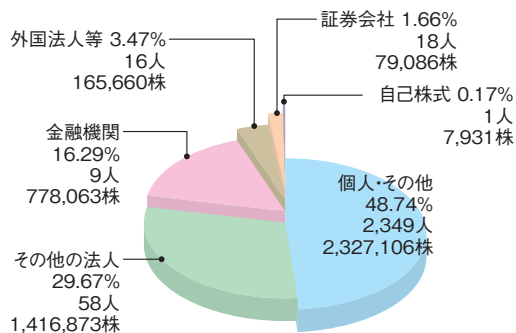
株式の状況 (2022年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 15,000,000株
- 発行済株式の総数 4,766,788株
(自己株式7,931株を除く)
- 株主数 2,451名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社ニード	736	15.46
八木通商株式会社	379	7.95
ムーンバット持株共栄会	285	5.99
株式会社三井住友銀行	232	4.87
河野正行	210	4.41
株式会社京都銀行	170	3.57
日本生命保険相互会社	160	3.37
京都中央信用金庫	146	3.08
岡本緑	115	2.43
フシアインベストメント リミテッド	104	2.18

(注) 持株比率は自己株式(7,931株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (2022年3月31日現在)

社名 ムーンバット株式会社
 英文社名 MOONBAT CO., LTD.
 本社 京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
 東京本部 東京都千代田区九段北4-1-3
 飛栄九段北ビル4階
 支店 東京・京都・福岡
 創業 明治18年3月(西暦1885年)
 設立 昭和16年9月(西暦1941年)
 資本金 10億円
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 従業員 183名(連結)・135名(単体)
 事業内容 洋傘・洋品・毛皮・レザー・宝飾品・帽子などの
 アクセントファッション商品の企画、輸入、製造、
 仕入、販売等を主な事業内容としております。

ホームページアドレス <https://www.moonbat.co.jp>

重要な子会社の状況

会社名	資本金	主要な事業内容
ルナ株式会社	60,000千円	毛皮・宝飾商品の企画販売
東京ファッションプランニング株式会社	48,720千円	物流業務の受託、デザインの企画
株式会社グローリー	35,200千円	洋傘、パラソル等の製造、加工、販売
エクセレントスタッフ株式会社	26,000千円	販売業務の業務請負等
A.F.C. ASIA LIMITED	1,000千香港\$	貿易業

取締役及び執行役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役・会長兼社長執行役員	中村卓司	
取締役・副社長執行役員	鎌田尚	事業本部長(兼) 百貨店事業部長(兼) 直営店開発事業部長
取締役・常務執行役員	山本聡	管理本部長(兼) リスク管理・コンプライアンス担当
取締役・執行役員	藪内康彦	経営企画・リスク管理室担当(兼) 品質管理室長
取締役(監査等委員)	山田隆二	
社外取締役(監査等委員)	郷田紀明	公認会計士
社外取締役(監査等委員)	安川文夫	公認会計士
執行役員	鈴木康史	戦略事業部担当(兼) チェーンストア事業部担当(兼) 戦略事業部長
執行役員	原田尚宏	百貨店事業部営業統括(兼) 東京支店長

株 主 メ ト

- *事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- *定時株主総会 毎年6月開催
- *基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日（中間配当をする場合）
その他必要な場合はあらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

- ・証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記の電話照会先にご連絡ください。
- *株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- *株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063）
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- *公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.moonbat.co.jp>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- *上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

《ご案内》配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様へ

- より早く、安全、確実に配当金をお受け取りいただくために、銀行預金口座への振込によるお受け取りをお勧めいたします。手続きについてのお問い合わせ先は次のとおりです。
- ・証券会社に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社へお問い合わせをお願いいたします。
 - ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせをお願いいたします。

【表紙の写真】



表紙の商品は：nuage 2022春夏コレクション
詳しくは当社ホームページをご覧ください。

